

令和6年度 第1回豊田市福祉有償運送運営協議会議事録

日時:令和7年1月30日

場所:東65会議室

出席委員:樋口恵一(協議会議長)、鈴木信久(代理:外川英紀)、小島康史、山岸みのり、加藤真司(介助者1名)、上村理恵、田中隆丞、福岡進太(協議会会長)

(8名中8名出席)

事務局:近藤担当長、眞井書記

更新登録団体:川口雄大(一般社団法人ミニッツ)、中嶋修(ふみだす)、成瀬仁・山崎貴博(豊田ハンディキャブの会)

1 開会

2 あいさつ

3 議事

協議事項1 豊田市における福祉有償運送の現状について(協議)

事務局 (資料に基づき説明)

樋口議長 ・ 豊田市の福祉有償運送の現状について、御意見があれば伺いたい。なければ、豊田市の福祉有償運送の現状について、採決を取りたい。

【採決:出席委員全員が「賛成」】

樋口議長 ・ では、豊田市の福祉有償運送の必要性については、原案のとおり承認いただき、協議が調ったものとする。

協議事項2 福祉有償運送実施事業者の更新登録申請について(協議)

事務局 (資料に基づき説明)

協議事項3 福祉有償運送実施事業者の変更登録申請について(協議)

事務局 (資料に基づき説明)

樋口議長 ・ その他、更新登録申請のあった3団体、変更登録申請のあった1団体について、御意見があれば伺いたい。なければ、豊田市の福祉有償運送実施事業者の変更登録申請について、認めるか否か採決を取りたい。

【採決:出席委員全員が「認める」】

- 樋口議長 ・では、豊田市の福祉有償運送実施事業者の変更登録申請については、原案のとおり承認いただき、協議が調ったものとする。

報告事項1 現在の福祉有償運送の状況について

- 樋口議長 ・今回、登録団体の方が多数協議会に参加している。現在の福祉有償運送の状況や意見を教えていただきたい。
- ミニッツ ・移動支援の中で福祉有償運送を実施。コロナで縮小している中で利用者から色々な要望も多いが、なるべく引き受けて事業を実施している。
- ふみだす ・移動支援・行動援護の中で福祉有償運送を実施。利用者の余暇の実現をするためには、車が必須となる。そのために事業を行っている。
- 豊田ハンディキャブの会 ・自由送迎をとっており、ボランティアはいない。金銭面等で苦しい部分もあるが、ハンディキャブの会の存続のためにも踏ん張って事業を実施している。
- 山岸委員 (はなかご) ・はなかごの利用者は重度障がいが多い。この事業は、障がいのある人でも安心して移動できる手段である。
- 上村委員 (つえの里) ・同行援護からも利用者から料金を徴収しているため、福祉有償運送の利用料金を急激に上げることは難しい。
- 加藤委員 (つえの里) ・タクシー料金の5割以内だとしても、ある程度お金がかかってしまうため、なるべく使わないようにしている。

報告事項2 旅客からの対価に関して

- 樋口議長 ・旅客から収受する対価が5割から8割以内に上げられるようになった。このことについてどう思っているか。
- ミニッツ ・他の事業で賄えているため、値上げは考えていない。
- ふみだす ・他の事業で賄えているため、値上げは考えていない
- 豊田ハンディキャブの会 ・可能であれば値上げをしたいが、現状では考えていない。
- 上村委員 (つえの里) ・昨年、旅客から収受する対価を上げたか、それでも事業実施するのに限界。行政から運営費の補助や福祉有償運送でタクシー券が使用できれば少しは楽になる。
- 加藤委員 ・障がい基礎年金のみで生活している人にとってはこの料金でもかなりしんどい。利用を控えることになりQOLが落ちてしまうため、行政として何かできないか
- 事務局 ・実施団体への運営費補助や福祉有償運送でのタクシー券使用等については、1度課内で検討する。
- 小島委員 ・豊田市は面積が広いいため、タクシー業界でいかに空白地域を無くすか模索している。最低賃金が上がっていることに伴い、人件費が増え、年々苦しくなっている部分もある。昨年の12月から犬山がライドシェアを開始した。豊田市でも開始できないか考えている。

4 その他

- 事務局
- ・ 豊田市の福祉有償運送運営協議会運営指針も 4 月から改正し、運送の対価が 5 割から 8 割以内へ変更した。急に金額を変更することは難しい現状ではあるが、変更する場合は、変更届等を提出し来年の運営協議会で協議が必要である。
- 樋口議長
- ・ その他、発議や御意見がある方はいるか。
では、ほかに御意見等がなければ、これにて令和 6 年度第 1 回豊田市福祉有償運送運営協議会を閉会する。
円滑な議事の進行に御協力いただき、お礼申し上げます。